

自立運転（停電時に電気機器を使う方法）

自立運転について

自立運転とは停電時に発電した電力を自立運転用コンセントに供給する機能です。
自立運転のご利用時は、以下の注意事項をよくご覧いただき、正しくお使いください。

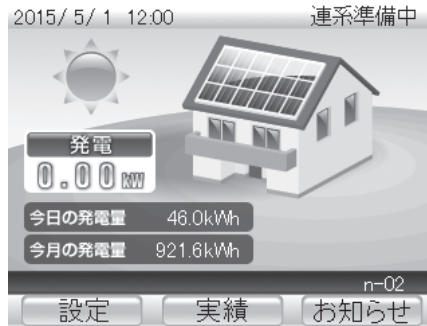
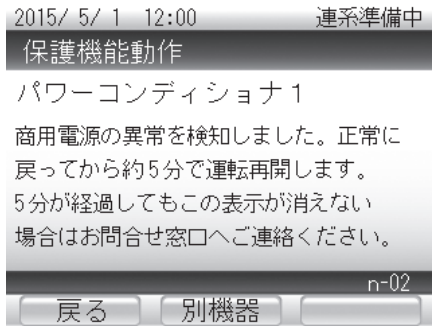
<自立運転利用上のご注意>

- 停電が復旧したときは連系運転モードに戻してください。
自立運転は停電時の予備電源としてのみ使用してください。
停電が復旧しても自動で連系運転モードには戻りませんので、運転モードの切り替え（☞ 75 ページ）を行ってください。
- 夜間、曇天、雨天時など太陽電池モジュールが発電していないときは使用できません。
自立運転用コンセントは、太陽電池モジュール発電が停止すると電力供給が無くなるため使用できません。
- 自立運転にて発電が停止した翌日は、自動で運転を開始します。
自立運転にて停止した翌日は自立準備中または自立運転中になります。
- 日照の変化などで発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止する場合があります。
発電電力が自立運転用コンセントにつないだ機器の消費電力より小さくなると、パワーコンディショナは運転を停止します。
- 自立運転時の発電量および消費電力量は積算電力量に反映されません。
自立運転時の発電量と自立運転用コンセントで消費された電力は実績に残りません。
- 消費電力が大きい機器を使用しないでください。
自立運転用コンセントで使用できる電力は最大 1500 W までです。
発電状況により使用できる電力が変動する場合がありますので、消費電力が小さな機器を使用してください。
- 自立運転時に発電した電力は専用コンセントのみに供給されます。
自立運転時での発電で余剰電力が発生しても電力会社への売電は行われません。

警告

- 太陽電池の発電量は天候により変化します。曇っていたり、降雨があると発電量が大きく低下しますので、自立運転用コンセントに接続した機器は、突然停止しても安全性に問題がないことを確認してください。
- 以下の機器は自立運転用コンセントに接続しないでください。
 - 医療機器、灯油やガスを用いる暖房機器
 - 電池でバックアップされていないパソコンやワープロなどの情報機器
 - その他、突然停止すると生命や財産に損害を与える機器
- 自立運転する場合は、分電盤内の太陽光発電用ブレーカを「OFF」にしてください。
- 連系運転中、自立運転用コンセントには機器を接続しないでください。

1 保護機能動作画面で を押す



停電のメッセージが表示されている場合は「戻る」ボタンを押し、トップ画面を表示させてから運転モードを切り替えてください。

2 トップ画面で連系 / 自立ボタンを5秒間押し続ける

運転状態表示欄に「自立手動停止中」と表示されます。



3 運転 / 停止ボタンを押す

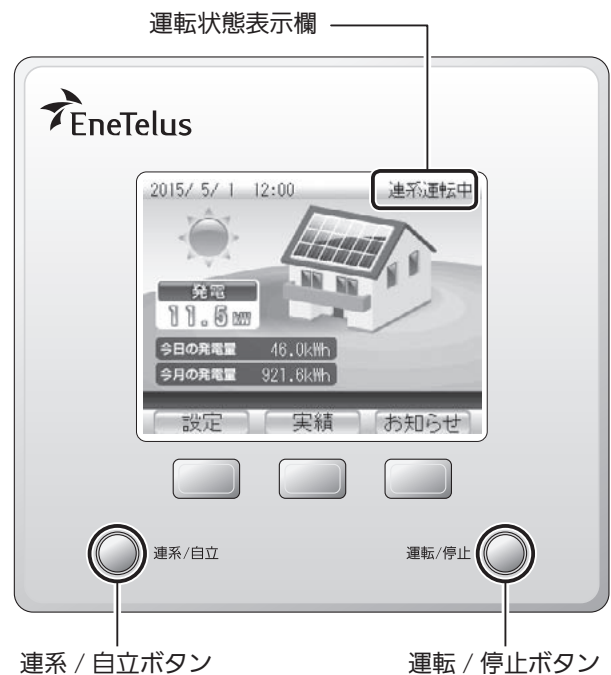
運転状態表示欄に「自立準備中」と表示されたあと、「自立運転中」と表示されます。



自立運転の開始または停止を準備しているときはこの表示になります。



太陽光発電した電気を自立運転用のコンセントに供給しているときはこの表示になります。



もくじ

はじめに

余剰売電

各部の名前とはたらき

発電の実績を
見る・設定する

全量
売電

各部の名前とはたらき

発電の実績を
見る・設定する

各種の設定をする

こんなときは

索引